

2023 年 1 月 6 日

三井不動産株式会社

北海道のグループ保有林 5,000ha において フォレストック認定を取得

～年間 21,315トンの二酸化炭素吸収、生物多様性保全において第三者認定を取得～

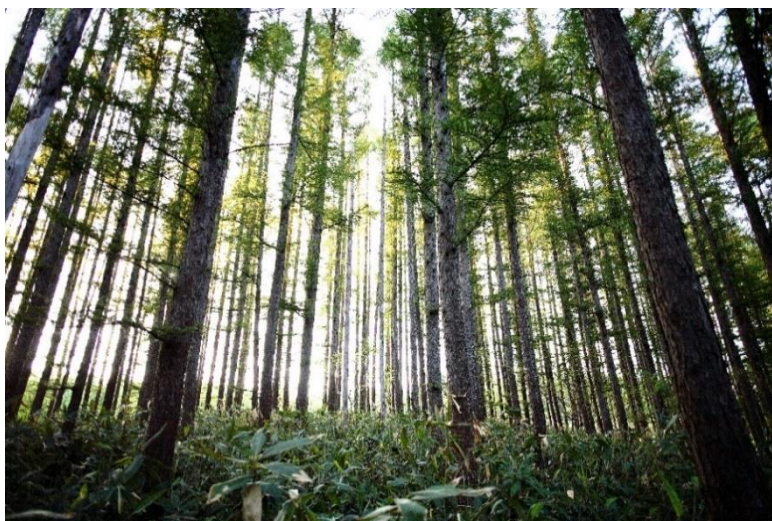
三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信)は、2023 年1月1日付で、当社グループ会社である港エステート株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 山本有)が北海道に保有する保有林において、一般社団法人フォレストック協会よりフォレストック認定[※]を取得いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループは、「&」マークに象徴される「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、グループビジョンに「&EARTH」を掲げ、社会・経済の発展と地球環境の保全に貢献しています。この保全活動の一環として、北海道に約 5,000ha(東京ドーム約 1,063 個分)の森林を保有し、持続可能な“終わらない森”創りに向けて、「植える」「育てる」「使う」のサイクルをまわしています。

今般、当グループ保有林が「生物多様性の保全」「優良な森林管理・経営」「年間 21,315トンの二酸化炭素吸収(2023 年1月1日認定日から起算)」に寄与していることが評価され、フォレストック協会認定を取得いたしました。なお、フォレストック認定を受けている森林の中では当森林が最大規模となります。

当グループ保有林は、今後 5 年間に渡って、継続的にフォレストック協会認定の審査を受けることによって、これまで北海道庁の算定方法に基づき算出していた年間の CO2 吸収量に関して、第三者認定を取得することができました。また、「生物多様性」「森林の管理・経営」に関しても客観的な評価がなされることから、一層森林管理・保全を推進してまいります。

当社グループは、引き続きグループ保有林における“終わらない森”創りを通じて、社会・経済の発展と地球環境の保全に貢献してまいります。



北海道下川町の三井不動産グループ保有林

※フォレストック認定は 2009 年に日本林業経営者協会が創設した認定制度。森林の CO2 吸収量や生物多様性などを第三者機関が多面的に調査、評価の上認定するもので、現在は一般社団法人フォレストック協会が運営している認定制度です。



■三井不動産グループの“終わらない森”創りについて

当社グループでは、「植える」「育てる」「使う」という持続可能な“終わらない森”創りのサイクルをまわし続けています。すべての保有林は、社会的、経済的、環境的に適切な管理がなされている森林を認証する SGEC の森林管理認証を取得しています。 https://www.mitsuifudosan.co.jp/and_forest/



■三井不動産グループの SDGs への貢献について https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

<参考>・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

* なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 4 つの目標に貢献しています。

- 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標 12 つくる責任 つかう責任
- 目標 13 気候変動に具体的な対策を
- 目標 15 陸の豊かさも守ろう

